

キャンプ座間に関する協議会第21回幹事会
(ま と め)

1 日 時 平成31年3月20日(水) 11:00～12:00

2 場 所 座間市役所 3階庁議室

3 出席者

(1) 南関東防衛局

山口企画部長、堀内管理部長、湯田地方調整課長

(2) 座間市

小俣副市長、荻原市議会副議長、長本市基地返還促進等市民連絡協議会副会長、小林企画財政部長

(3) 神奈川県

竹村基地対策部長

4 会議の概要

(1) 負担軽減策について

座間市から「キャンプ座間の一部返還地における公園エリアでは、貴局の理解により負担を軽減する形で財務省と用地購入の契約を行うことが出来たことに対し、お礼申し上げます。平成33年の開園に向けて、公園整備に着手する予定であり、市民が負担軽減を実感できるよう、引き続き、積極的な対応をお願いする。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「国の財政は非常に厳しい状況ではあるが、最大限努力してまいりたい。」との説明があった。

(2) その他の事項について

① キャンプ座間に給水している送水管について

座間市から「キャンプ座間に給水している座間市道の地下に埋設されている送水管に係るイーズメントについて、市では、道路法第4条の規定により道路上に私権を設定せず、新たな付替え工事等により、詳細が明らかになった際、順次、道路法第35条に基づき、占用協議を行うものと考えているが、貴局の見解はどうか。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「キャンプ座間に給水している送水管については、旧陸軍士官学校が座間市道等の地下に埋設したものであり、当時の資料等が残っておらず、詳細は不明となっている。これまでも、座間市道の地下に埋設されている送水管の詳細が明らかになった時点で、座間市に対し、道路法第35条の規定に基づき占用協議を行ってきたところであり、今後も詳細が明らかになった時点で、道路法第35条の規定に基づき占用協議を行ってまいりたい。」との説明があった。

② 在日米陸軍の部隊編成について

座間市から「昨年10月に相模総合補給廠に移駐してきた米陸軍の第38防空砲兵旅団司令部について、貴局が把握している情報の説明をお願いする。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「第38防空砲兵旅団司令部の駐留について、昨年9月5日、在日米軍より『2018年秋から相模総合補給廠に第38防空砲兵旅団司令部を駐留させる』旨の接受国通報があり、その後、米側と所要の調整を継続した結果、日米間での調整が整ったことから、同月28日に地元自治体に対し、同司令部の駐留について実施した説明内容は、

ア 第38防空砲兵旅団司令部は、平成30年10月16日から正式活動を開始することとなっているが、その要員は今後、半年から1年の間、段階的に配属する予定であること。

イ 第38防空砲兵旅団司令部は、キャンプ座間の余席が限定的なことから相模総合補給廠の既存の施設を使用する予定であり、また司令部（要員）部隊であることから、現時点において追加の装備を導入し運用することはないこと。

ウ 当該部隊は、在日米陸軍司令部が行う防空砲兵部隊の運用に対する調整の支援を行うものであり、常駐することによって相模原市民の生活に特段影響を与えるものではないこと。

以上のとおり行い（配布資料）、その後、10月16日から当初20名の人員で活動を開始し、大佐の階級である方が旅団長として着任している。」との説明があった。

これに対して、座間市から「第38防空砲兵旅団司令部は、キャンプ座間の余席が限定的なため相模総合補給廠に駐留した、ということであるが、キャンプ座間との関係をどのように考えているか。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「米側からは、第38防空砲兵旅団司令部は、ハワイに所在する第94陸軍対空ミサイル防衛コマンドの一部であり、同司令部は経ヶ岬通信所や車力通信所に既に配備されている下位の防空部隊に対する指揮、統制及び調整を行う旨説明を受けており、また、相模総合補給廠に常駐し、当該補給廠から支援を受ける部隊であるとの説明を受けているが、これ以上の詳細については、米軍の運用に関する事項であり、承知していない。」との説明があった。

次に、座間市から「相模総合補給廠に配備されていた第35戦務支援大隊が、一昨年の10月にキャンプ座間に移駐した、とのことであるが、貴局が把握している情報があれば御説明いただきたい。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から、「昨年10月24日に、米側から、第35戦務支援大隊の約90名が、2017年10月、任務要件の理由により相模総合補給廠からキャンプ座間の既存の建物内に移駐した。なお、第35戦務支援大隊のキャンプ座間内の具体的な移駐先については、米側の運用に関するこ

とから、南関東防衛局では承知をしていない。南関東防衛局としては、米側から情報が得られれば、可能な限り情報提供してまいりたい。」との説明があった。

最後に座間市から「自衛隊の部隊改編から1年が経過するが、キャンプ座間における自衛隊の組織や業務内容などについて、新たな情報はあるか。」との発言があり、これに対して、南関東防衛局から「その後、特に追加する情報はない。自衛隊に関しても、お伝えできる内容が出てきたら、速やかに情報提供してまいる。」との説明があった。

以 上